

受 令和 6 年 2 月 21 日
付 午前・午後 2 時 55 分

一般質問 (代表・個人) 通告書

令和 6 年 2 月 21 日

尾張旭市議会議長 殿

氏名 大島もえ

尾張旭市議会会議規則第 50 条第 1 項の規定により 3 月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 6 件

2 質問方法

| | |
|----------------------------------|--|
| | 1 回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項 (大項目) ごとに一問一答 |
| <input checked="" type="radio"/> | 1 回目から 質問事項 (大項目) ごとに一問一答 |

↑ 選択する方法に○を付す。



| | |
|----------------------|---|
| 質問事項 No. <u>3</u> | 18歳成人の節目を捉えたお祝いと社会人準備のための学びの提供について |
| 要 旨 | <p>「『二十歳の集い』はあるけれど、18歳の節目はくっきりしない。『その時』が来たら、いつの間にか成人になっている。」という声を聞きます。</p> <p>保護される立場から、社会の担い手となる誇らしい節目としてお祝いできる取組を提案し、市の見解を伺います。</p> <p>▶ 具体例として</p> <ul style="list-style-type: none">・ 社会の仕組みや政治参加の手法を知ること、安心して「成人」の日を迎えられる学びの提供・ 主権者としての誇らしさを育むための選挙手帳を届ける取組など |

※ 申し合わせ事項に留意する。

| | |
|----------------------|--|
| 質問事項 No. <u>4</u> | 行政サービス・教育活動等の中のジェンダーバイアス点検と対応について |
| 要 旨 | <p>ジェンダー平等に向けた社会の取組の浸透や、自治体によるファミリーシップ・パートナーシップ制度の人口カバー率が80%を超えるなど、人権に配慮された社会の豊かさの深まりを実感します。</p> <p>それらの社会で共有されつつある価値を行政サービスや教育活動等の中でも市民と共に共通土台として共有していくために、より一層の推進力を育むべく、今一度、業務や活動の中にあるアンコンシャスバイアス（無意識の偏見）に気付き、それらがマイクロアグレッション（自分では相手を差別したり、傷つけたりするつもりはないのに結果として相手を傷つけてしまうような言動や行動のこと）を防止するための点検と改善を提案し、市の見解や具体的手法について伺います。</p> <p>▶ 具体例として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・婚姻届で「姓」を選択する場合に、夫・妻どちらの姓を選択する場合にも対応できる記載例の用意の有無 ・窓口で世帯主記載欄への「世帯主＝男性」というバイアスから夫の名前を促してしまう説明 ・行政や教育活動内でのイラストや画像を用いる際の性別役割バイアスの点検 <p>など、その他諸々</p> |

※ 申し合わせ事項に留意する。

| | |
|-------------------------|---|
| 質 問 事 項 No. <u>5</u> | 被災時対策としての民間資源の把握・連携と通電火災予防のための感震ブレーカー導入支援策について |
| 要 旨 | <p>被災時対策としての民間資源の把握・連携により、民間施設の持つライフラインを支える社会資源（備蓄や井戸水など）の共助を機能的に活用させていただき取組を提案し、市の見解と今後の方針について伺います。</p> <p>また、通電火災予防のための感震ブレーカー導入支援策についても、市の見解と今後の方針について伺います。</p> <p>(1) 被災時対策としての民間資源の把握・連携について</p> <p>(2) 通電火災予防のための感震ブレーカー導入支援策について</p> |

※ 申し合わせ事項に留意する。

